

# 海のデータ連携についての 今後の取組の方向性について

令和 2 年 2 月 26 日

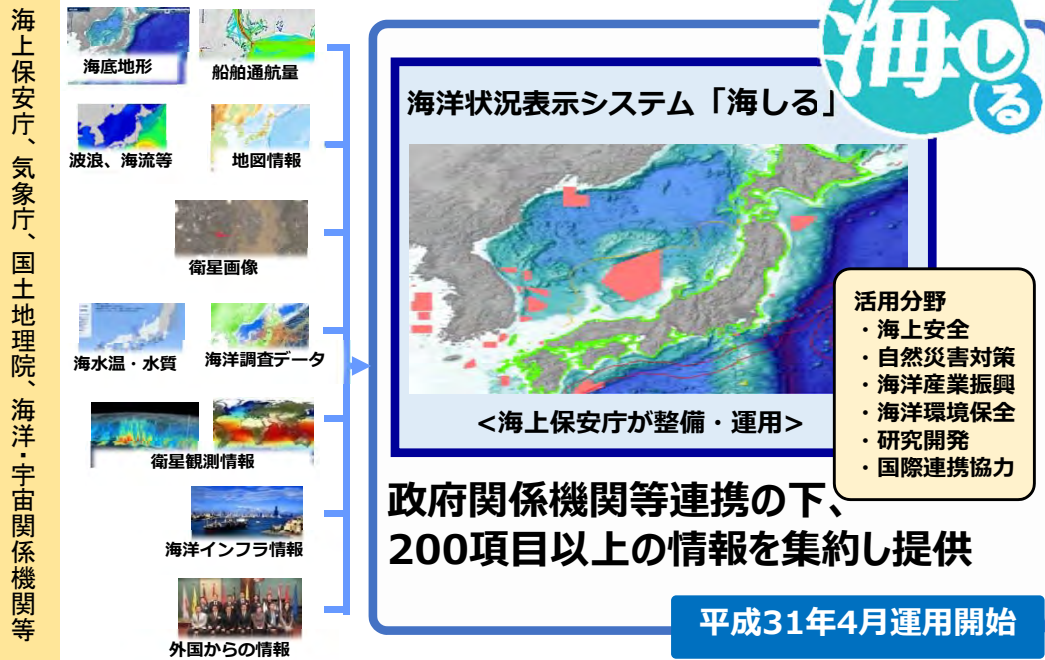
**海上保安庁**

# 海のデータ連携の推進

## 概要

- 海のデータに関する関係省庁等の情報交換・共有システムである**海洋状況表示システム「海しる」**を海のデータ連携のハブとして活用することをはじめ海のデータ連携を強化することで、業際を越えたデータの迅速かつ円滑な連携を可能とし、**各分野の成長産業化や新たな産業の創出を推進**する。

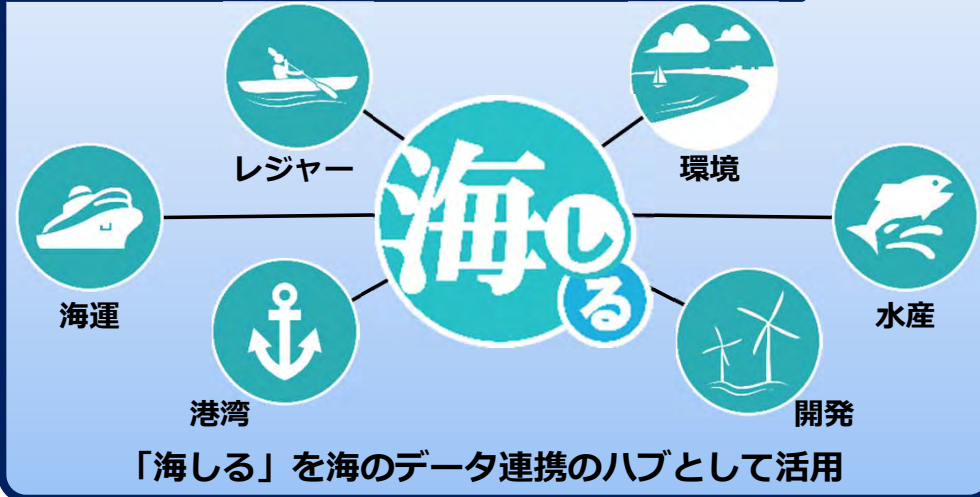
## 海のデータの共有システム「海しる」



## 検討課題

- 海の各分野の成長産業化への推進等に資するためには、
- **海のデータ利用者のニーズに応じていく仕組みの整備**が必要
  - **民間事業者、地方公共団体等へ、すそ野を広げる**必要

## 海のデータ連携の推進

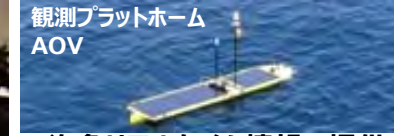


## 具体的な取り組み

- データ提供者と利用者との間での**マッチング**を図るための、**要望を受け付ける機能の整備、民間事業者・地方公共団体等との連携を強化、フォーラム等を通じた連携の強化**(スライド2)
- **水温等のリアルタイム情報の充実強化**(スライド3)
- **データ共有ルール（API連携の規格、データフォーマット等）の統合・標準化をガイダンスの作成等により推進**(スライド4)
- マッチングの推進や、**海洋予測精度の向上等により、新たな産業を創出**(スライド2)



フォーラムの開催



観測プラットフォーム AOV 海象リアルタイム情報の提供



海しるAPI規格 規格の標準化

# 海のデータ利用者と提供者のマッチングの推進

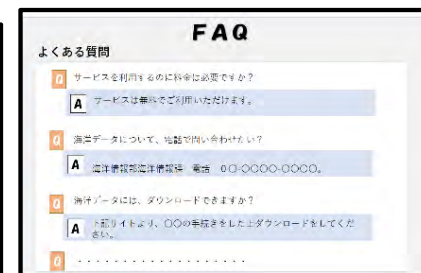
## 概要

- データ利用者と提供者との間でのマッチングの推進や、海洋予測精度の向上への貢献等による新たな産業の創出
- フォーラム等を通じた民間事業者・地方公共団体等との連携を強化

## データの要望を受け付ける機能の整備

- 利用者からのデータ要望を受け付ける機能を整備して、ニーズに基づいたデータ提供を促すとともに、掲載データ検索機能やQ&A情報を強化し、データ利用者と提供者との間でのマッチングを推進する。
- さらに、海洋予測精度の向上への貢献や、同予測を活用した新しいサービスの紹介により、新たな産業の創出を図る。

### 要望受付サイトの整備



「海しる」Q&Aを強化

## 海のデータ連携に関するフォーラム等の開催

- フォーラム等の開催を通じて、海のデータ利用・収集の拡大を図ることで、民間事業者、地方公共団体等との連携を強化し、海のデータ連携に関するネットワークを構築する。



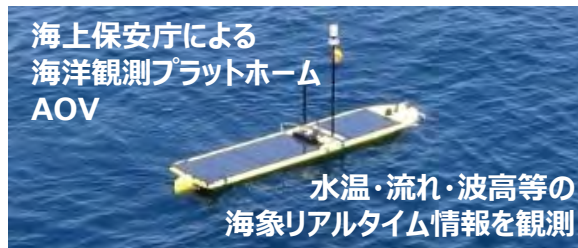
# リアルタイム情報等の充実強化

## 概要

- ニーズの高い海象等のリアルタイム情報等を充実強化する

### 現場観測値及び海難情報等の充実

- 国内各機関は自律型海洋観測装置(AOV)、ブイ等による観測・監視を実施しているが、**情報集約ができていない**

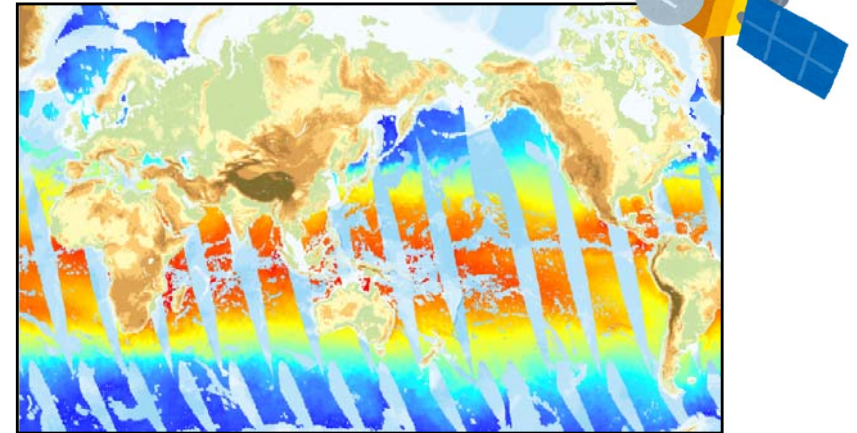


- AOVによる水温・流れ・波高等の**海象リアルタイム情報**の新規掲載
- 国内各機関の**ブイ情報**及び**沿岸観測・監視拠点情報**の新規掲載
- **海難防止等に資する情報**の充実強化が必要
- **AIS関連情報**※の新規掲載  
(※ 地域の詳細なAIS船舶の通航密度の情報等)
- **海難関連情報**※の新規掲載  
(※ 海難発生注意海域情報等)



### リアルタイム衛星情報の充実強化

- **JAXAの協力**により**全球の1日毎の水温、海氷等**多数掲載
- ニーズの高い**クロロフィル情報等の新規掲載、観測頻度・解像度等の異なる情報の充実強化**が必要



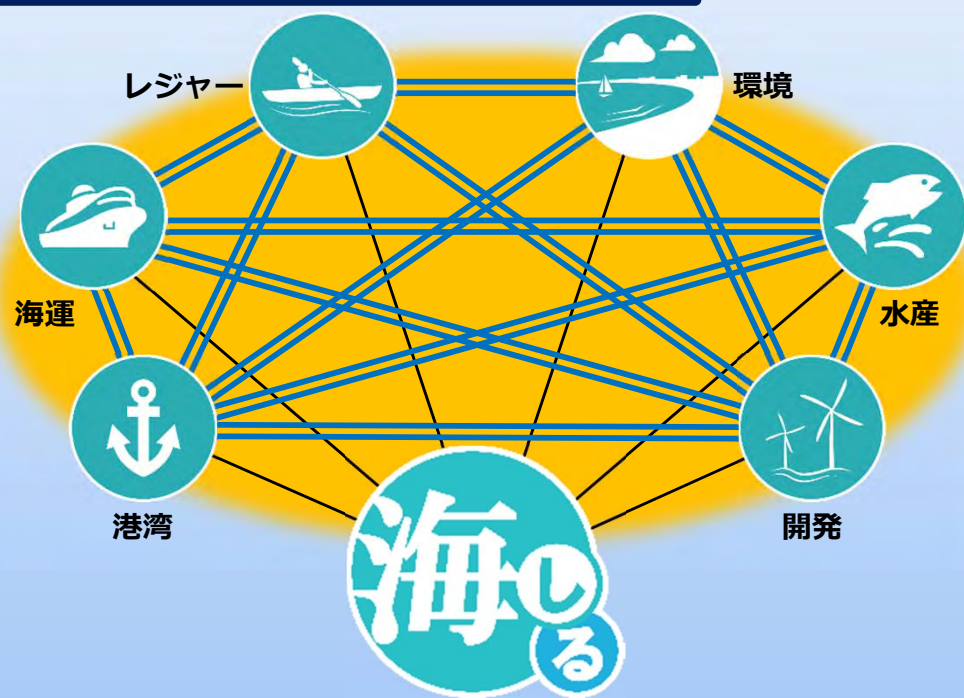
- JAXA衛星情報に加え、**国際連携による国外機関の情報**の充実

# データ連携ルールの標準化

## 概要

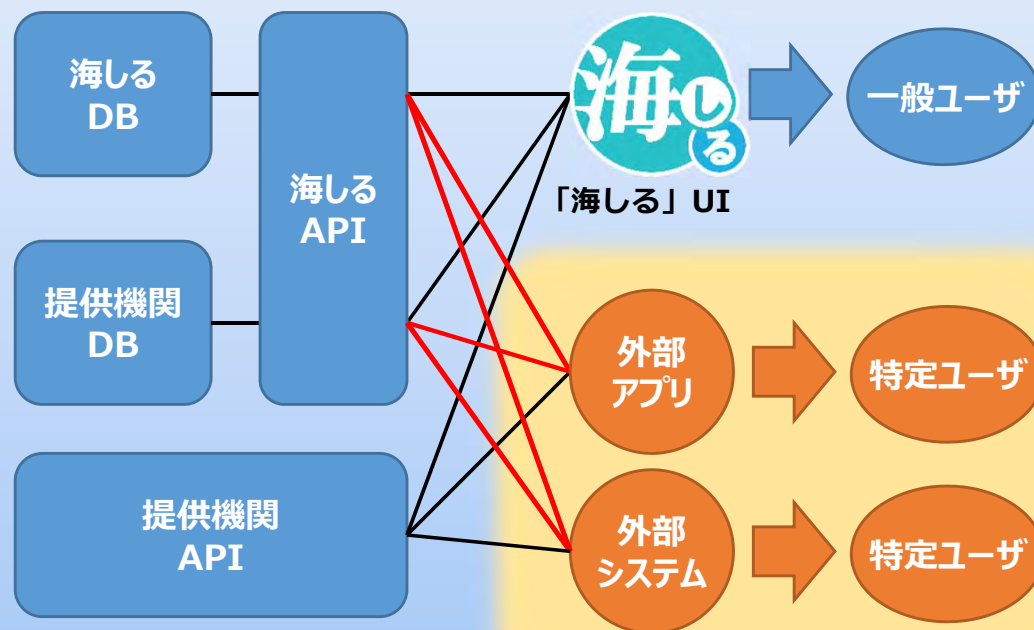
- 「海しる」をデータ連携のハブとして位置づけ、各機関は保有するデータの“カタログ情報”を「海しる」に登録し、利用者に広く周知することで、データの利用シーンの拡大に貢献。
- 「海しる」へのデータ登録規格、「海しる」API規格を公開することを含め、海のデータ連携において、API連携やデータ標準化を促すガイドンスを作成し、「海しる」をはじめとした海のデータ連携の標準化を図る。標準となる規格は基本的には既存の広く利用されている規格とする。

## 海のデータ連携の推進



- 「海しる」を海のデータ連携のハブとして活用
- 各者が有するデータの“カタログ情報”を「海しる」に登録し、データの相互共有を促進

## データ連携標準規格の公開



- 「海しる」のデータ提供規格を一般に公開することを含め、データ相互利用の促進・連携の標準化を図る

# 海のデータ連携の実現に向けたロードマップ

2020年度

2021年度

2022年度

利用者とのマッチングの推進

共有体制の構築

海のデータの標準化

各分野の民間事業者との連携  
自治体との連携  
海のデータ連携に関するフォーラムの開催  
「海しる」に利用者の要望を受け付けるサイトを整備

利用者の要望に基づいたリアルタイム情報等の「海しる」への掲載

「海しるAPI」の公開  
海のデータ連携のガイダンスの公開  
「海しる」をデータ連携のハブとして活用

海の各分野の主要民間団体等との定期的な連絡体制の調整  
海域の利用計画等、海洋政策に積極的な自治体との定期的な連絡体制の調整  
官民の関係者を集めたフォーラムを開催  
要望を受け付けるサイトを仮設

「海しる」に所用の改修を実施することで、利用者の要望を踏まえたリアルタイム情報等を順次掲載し利用者に提供

海しるAPIの試行版の公開と評価  
API初版の公開と評価 (以後毎年見直し)  
海のデータ連携に関するガイダンス試行版の公開と評価  
ガイダンス初版の公開と評価 (以後毎年見直し)  
各分野が保有するデータの“カタログ情報”を「海しる」に登録するよう、各分野への働きかけ

民間団体からのニーズの把握  
民間団体が有する情報の入手  
民間団体との連携を継続・拡大  
自治体からのニーズの把握  
自治体が有する情報の入手  
自治体との連携を継続・拡大  
官民の関係者を含む一般向けフォーラムを開催  
要望を受け付けるサイトを本格開設 (サイト改修を継続)

主要民間団体等との定例会合等、民間団体とのネットワークを構築  
主要な自治体を集めた定例会合等、自治体とのネットワークを構築  
官民フォーラム等の定期会合の開催  
利用者の要望を関係省庁を含む提供者に還元し、要望に基づくデータの提供を促す体制を構築

利用者の要望を踏まえた「海しる」上のリアルタイム情報等の充実・提供を実現

海しるAPIの公開により民間を含む各機関において、データ利用が迅速・効率化  
ガイダンスの周知により、海のデータの各分野間の連携が迅速・効率化  
利用者に“カタログ情報”が周知されることで、データの利用シーンが拡大

マッチングの推進による海のデータの相互利用の拡大を実現

利用者から必要とされているリアルタイム情報等の共有体制を構築

海のデータ連携における分野間のデータ連携の迅速・効率化を実現

海の成長産業化や新たな産業の創出

# 海のデータ連携の効果

## 概要

■ 海のデータの提供者と利用者とのマッチングの推進、リアルタイム情報等の共有体制の構築により、海洋予測精度の向上や、新たな成長産業化への貢献

### 海運

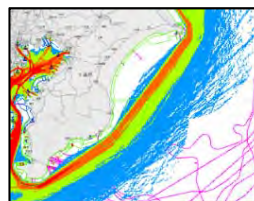


### 海上物流の効率化に貢献!

航行警報、船舶通航量、海象等のリアルタイム情報等の充実・強化により、海上物流における効率的な航路設定のさらなる最適化に貢献

### 開発

### 海洋開発への貢献!



詳細な船舶通航量情報や海象等のリアルタイム情報等の充実・強化により、洋上風力発電所の適地選定等の海洋開発への貢献



### レジャー

### レジャーに貢献!

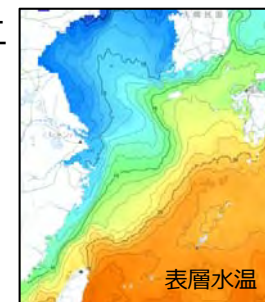
気象、海象、海水浴場、マリナ等の情報の充実・強化によりマリンレジャー活動に貢献



### 水産

### 水産業に貢献!

衛星データ等のリアルタイム情報等の充実・強化により、漁場探査精度が向上



### 港湾



### 災害時の早期航路啓開に貢献!

気象、海象、衛星写真等のリアルタイム情報等の充実・強化により、災害時の港湾における早期航路啓開に貢献

### 環境



### 環境保全に貢献!

気象、海象等のリアルタイム情報等の充実・強化により、海ゴミの漂流予測精度の向上等、環境保全に資する情報の分析の高度化に貢献